

松前町の給与・定員管理等について

1 総括

(1) 人件費の状況（普通会計決算）

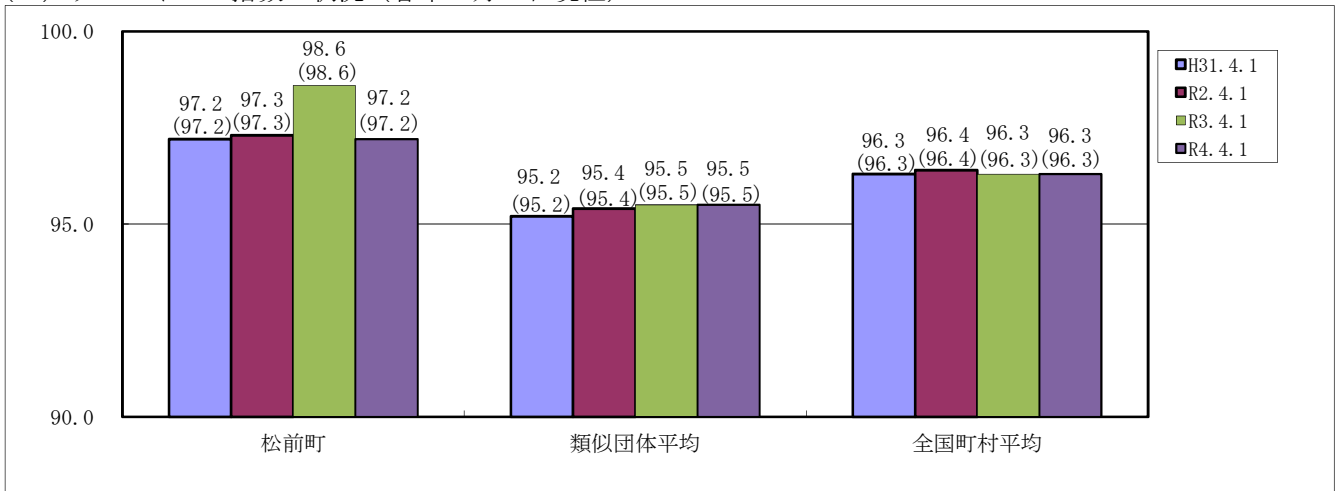
区分	住民基本台帳人口 (R4. 1. 1)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考) 令和2年度の人件費率
	人	千円	千円	千円	%	%
3年度	6,445	5,978,017	556,581	1,018,604	17.0	16.0

(2) 職員給与費の状況（普通会計決算）

区分	職員数 A	給与費				(参考) 一人当たり 給与費 B/A	(参考) 類似団体平均 一人当たり給与費
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	千円	千円
	人	千円	千円	千円	千円	千円	千円
3年度	100	341,016	64,361	133,674	539,051	5,391	5,488

- (注) 1 職員手当には退職手当を含まない。
- 2 職員数については、令和3年4月1日現在の人数である。また、任期付短時間勤務職員（再任用職員（短時間勤務））及び会計年度任用職員を含まない。※任期付短時間勤務職員 該当者なし
- 3 給与費については、任期付短時間勤務職員（再任用職員（短時間勤務））の給与費が含まれているが、会計年度任用職員の給与費は含まれていない。※任期付短時間勤務職員 該当者なし

(3) ラスパイレス指数の状況（各年4月1日現在）



- (注) 1 ラスパイレス指数とは、全地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較するため、国の職員数（構成）を用いて、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国の行政職俸給表（一）適用職員の俸給月額を100として計算した指数。
- 2 ()書きの数値は、地域手当補正後ラスパイレス指数を指す。地域手当補正後ラスパイレス指数とは、地域手当を加味した地域における国家公務員と地方公務員の給与水準を比較するため、地域手当の支給率を用いて補正したラスパイレス指数。
(補正前のラスパイレス指数 × (1 + 当該団体の地域手当支給率) / (1 + 国の指定基準に基づく地域手当支給率) により算出。)
- 3 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものである。
- ※ 令和4年4月1日のラスパイレス指数が、①3年前に比べ1ポイント以上上昇している場合、②3年連続で上昇している場合、③100を超えている場合について、その理由及び改善の見込み

該当なし

(4) 給与改定の状況

①月例給

区 分	人事委員会の勧告				給与改定率	(参考) 国の改定率
	民間給与 A	公務員給与 B	較 差 A - B	勧 告 (改定率)		
4 年度	円 405,970	円 405,049	911 円 0.23%	% 0.30%	% 0.30%	% 0.30

(注) 「民間給与」、「公務員給与」は、人事委員会勧告において公民の4月分の給与額をラスパイレレス比較した平均給与月額である。

②特別給(期末・勤勉手当)

区 分	人事委員会の勧告				年間支給月数	(参考) 国の年間支給月数
	民間の支給割合 A	公務員の支給 月数 B	較 差 A - B	勧 告 (改定月数)		
4 年度	月 4.41	月 4.30	月 0.11	月 0.10	月 4.40	月 4.40

(注) 「民間の支給割合」は民間事業所で支払われた賞与等の特別給の年間支給割合、「公務員の支給月数」は期末手当及び勤勉手当の年間支給月数である。

(5) 給与制度の総合的な見直しの実施状況について

①給料表の見直し

[(実施) 未実施]

実施内容 (平均引下げ率、実施 (実施予定) 時期、経過措置の有無等具体的な内容 (未実施の場合には、その理由))

※給料表の改定実施時期 平成27年4月1日

※内容 一般行政職の給料表について、国の見直し内容と同様に、平均0.2%引き上げ。

②地域手当の見直し

実施内容 (国基準における場合の支給割合及び当該団体の支給割合)

支給割合 実施時期 (参考)	各年度の支給割合									
	平成26 年度	平成27年度		平成28 年度	平成29 年度	平成30 年度	令和元 年度	令和年 度	令和3 年度	令和4 年度
		4/1 時点	遡及 改定後							
国基準による支給割合	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
松前町の支給割合	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%

③その他の見直し内容

該当なし

(6) 特記事項

2 職員の平均給与月額、初任給等の状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況（令和4年4月1日現在）

①一般行政職

区 分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国比較ベース)
松 前 町	42.6 歳	304,795 円	356,475 円	337,826 円
北 海 道	42.8 歳	318,100 円	389,642 円	360,451 円
国	42.7 歳	323,711 円	405,049 円	円
類似団体	41.7 歳	299,599 円	348,460 円	325,472 円

②技能労務職

区 分	公 務 員					民 間			参 考 A/B
	平均年齢	職員数	平均給料月額	平均給与月額 (A)	平均給与月額 (国比較ベース)	対応する民間 の類似職種	平均年齢	平均給与月額 (B)	
松 前 町	— 歳	— 人	— 円	— 円	— 円	—	—	—	—
うち用務員	— 歳	— 人	— 円	— 円	— 円	—	—	—	—
うち運転手	— 歳	— 人	— 円	— 円	— 円	—	—	—	—
うちその他	— 歳	— 人	— 円	— 円	— 円	—	—	—	—
北 海 道	55.8 歳	129 人	315,400 円	343,139 円	332,005 円	—	—	—	—
国	51.1 歳	2,114 人	286,570 円	328,416 円	円	—	—	—	—
類似団体	50.2 歳	3 人	275,864 円	304,783 円	287,908 円	—	—	—	—

区 分	参 考		
	年収ベース（試算値）の比較		
	公務員 (C)	民間 (D)	C/D
松 前 町	—	—	—
うち用務員	—	—	—
うち運転手	—	—	—
うちその他	—	—	—

※ 民間データは、賃金構造基本統計調査において公表されているデータを使用している（平成30～令和2年の3ケ年平均）。

※ 技能労務職の職種と民間の職種等の比較にあたり、年齢、業務内容、雇用形態等の点において完全に一致しているものではない。

※ 年収ベースの「公務員(C)」及び「民間(D)」のデータは、それぞれ平均給与月額を1.2倍したものに、公務員においては前年度に支給された期末・勤勉手当、民間においては前年に支給された年間賞与の額を加えた試算値である。

③教育職

区 分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
松 前 町	44.8 歳	323,300 円	367,300 円
北 海 道	44.5 歳	370,900 円	422,314 円
類似団体	40.2 歳	289,377 円	322,586 円

(注) 1 「平均給料月額」とは、令和4年4月1日現在における職種ごとの職員の基本給の平均である。

2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものである。
また、「平均給与月額(国比較ベース)」は、比較のため、国家公務員と同じベース(=時間外勤務手当等を除いたもの)で算出している。

(2) 職員の初任給の状況(令和4年4月1日現在)

区	分	松前町	北海道	国
一般行政職	大学卒	185,200円	182,200円	182,200円
	高校卒	154,600円	150,600円	150,600円
技能労務職	高校卒	—	—	—
	中学卒	—	—	—
教育職	大学卒	185,200円	182,200円	182,200円
	高校卒	154,600円	150,600円	150,600円

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況(令和4年4月1日現在)

区	分	経験年数10年	経験年数20年	経験年数25年	経験年数30年
一般行政職	大学卒	—	—	352,300円	—
	高校卒	214,800円	—	344,800円	350,025円
技能労務職	高校卒	—	—	—	—
	中学卒	—	—	—	—
教育職	大学卒	—	—	—	—
	高校卒	—	—	—	359,200円

3 一般行政職の級別職員数等の状況

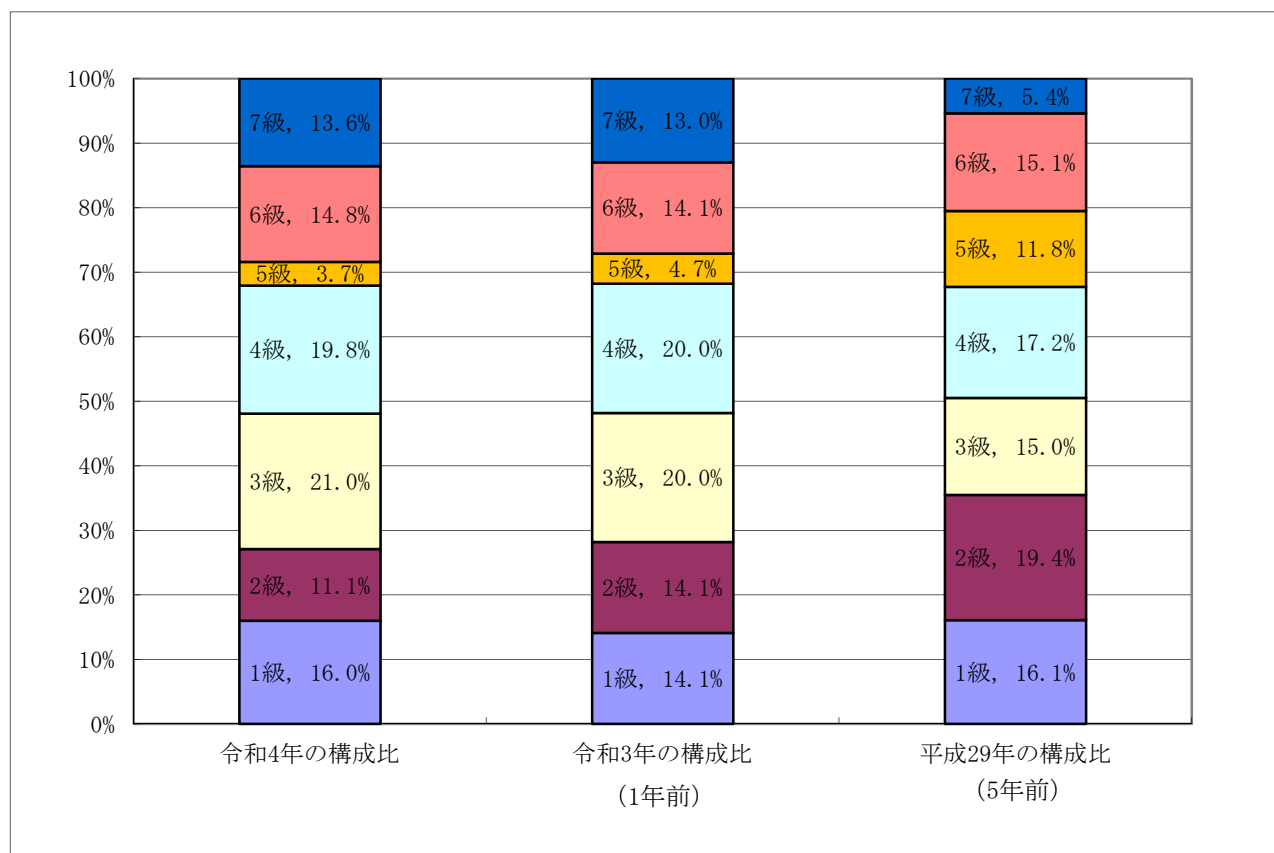
(1) 一般行政職の級別職員数及び給料表の状況 (令和4年4月1日現在)

R 4 給与実態調査

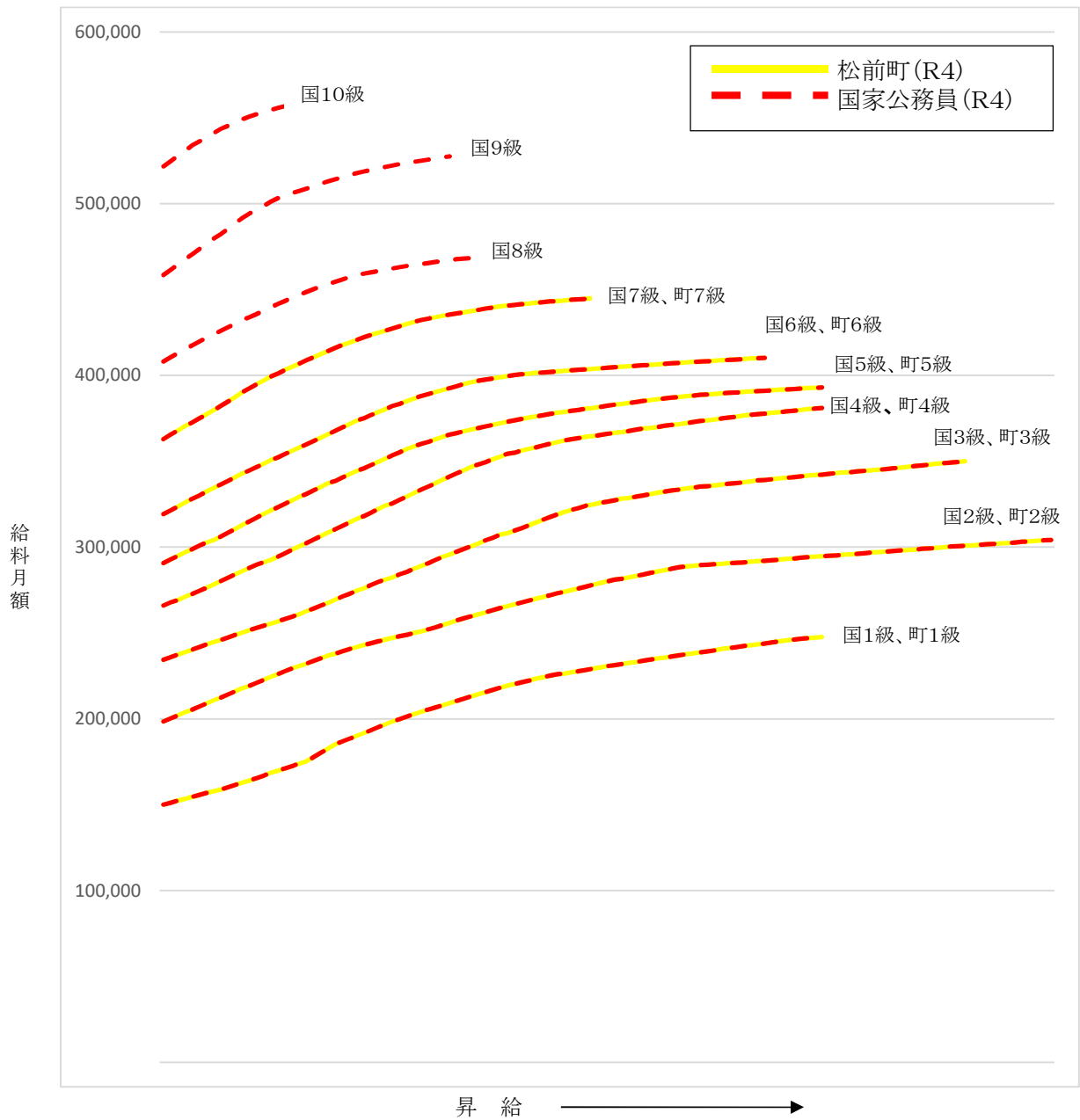
区分	標準的な職務内容	職員数	構成比	1号給の給料月額	最高号給の給料月額
1級	主事・技師	13人	16.0%	146,100円	247,600円
2級	主事・技師	9人	11.1%	195,500円	304,200円
3級	主任・主任技師	17人	21.0%	231,500円	350,000円
4級	係長	16人	19.8%	264,200円	381,000円
5級	課長補佐	3人	3.7%	289,700円	393,000円
6級	課長・参事・課長補佐	12人	14.8%	319,200円	410,200円
7級	課長	11人	13.6%	362,900円	444,900円

(注) 1 松前町の職員の給与に関する条例に基づく給料表の級区分による職員数である。

2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。



(2) 国との給料表カーブ比較表（行政職（一））（令和4年4月1日現在）



(3) 昇給への人事評価の活用状況

令和4年4月2日から令和5年4月1日 までにおける運用	管理職員		一般職員	
	イ. 人事評価を活用している	○		○
活用している昇給区分	昇給可能な 区分	昇給実績が ある区分	昇給可能な 区分	昇給実績が ある区分
上位、標準、下位の区分	○		○	○
上位、標準の区分				
標準、下位の区分				
標準の区分のみ（一律）	/		/	
ロ. 人事評価を活用していない				
活用予定時期				

4 職員の手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当

松 前 町	北海道	国
1人当たり平均支給額 (令和3年度) 1,395 千円	1人当たり平均支給額 (令和3年度) 1,593 千円	—
(令和3年度支給割合) 期末手当 2.55 月分 勤勉手当 1.90 月分 (1.45) 月分 (0.90) 月分	(令和3年度支給割合) 期末手当 2.40 月分 勤勉手当 1.90 月分 (1.35) 月分 (0.90) 月分	(令和3年度支給割合) 期末手当 2.55 月分 勤勉手当 1.90 月分 (1.45) 月分 (0.90) 月分
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5～15%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5～20% ・管理職加算 10～25%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5～20% ・管理職加算 10～25%

※ () 内は、再任用職員に係る支給割合である。

○勤勉手当への人事評価の活用状況 (一般行政職)

令和4年度中における運用	管理職員		一般職員	
1. 人事評価を活用している	○		○	
活用している成績率	支給可能な成績率	支給実績がある成績率	支給可能な成績率	支給実績がある成績率
上位、標準、下位の成績率	○	○	○	○
上位、標準の成績率				
標準、下位の成績率				
標準の成績率のみ (一律)				
2. 人事評価を活用していない				
活用予定時期				

(2) 退職手当 (令和4年4月1日現在)

松 前 町	国	
(支給率) 自己都合 応募認定・定年	(支給率) 自己都合 応募認定・定年	(支給率) 自己都合 応募認定・定年
勤続20年 19.6695 月分 24.586875 月分	勤続20年 19.6695 月分 24.586875 月分	勤続20年 19.6695 月分 24.586875 月分
勤続25年 28.0395 月分 33.27075 月分	勤続25年 28.0395 月分 33.27075 月分	勤続25年 28.0395 月分 33.27075 月分
勤続35年 39.7575 月分 47.709 月分	勤続35年 39.7575 月分 47.709 月分	勤続35年 39.7575 月分 47.709 月分
最高限度 47.709 月分 47.709 月分	最高限度 47.709 月分 47.709 月分	最高限度 47.709 月分 47.709 月分
その他の加算措置	その他の加算措置	その他の加算措置
定年前早期退職特例措置 (2～45%加算)	定年前早期退職特例措置 (2～45%加算)	定年前早期退職特例措置 (2～45%加算)
1人当たり平均支給額		
979 千円 0 千円		

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、令和3年度に退職した職員に支給された平均額である。

(3) 地域手当 (令和4年4月1日現在)

支給実績 (令和3年度決算)			86 千円
支給職員1人当たり平均支給年額 (令和3年度決算)			85,590 円
支給対象地域	支給率	支給対象職員数	国の制度(支給率)
7級地 (札幌市)	3 %	1 人	3 %
地域手当補正後ラスパイレス指数			97.2%
(ラスパイレス指数)			97.2%

(注) 地域手当補正後ラスパイレス指数とは、地域手当を加味した地域における国家公務員と地方公務員の
 ・ ・ ・ 給与水準を比較するため、地域手当の支給率を用いて補正したラスパイレス指数。
 ・ ・ ・ ・ (補正前のラスパイレス指数 × (1 + 当該団体の地域手当支給率) / (1 + 国の指定基準に基づく地
 ・ ・ ・ 域手当支給率) により算出。)

(4) 特殊勤務手当 (令和4年4月1日現在)

支給実績 (令和3年度決算)		0 千円		
支給職員1人当たり平均支給年額 (令和3年度決算)		0 円		
職員全体に占める手当支給職員の割合 (令和3年度決算)		0.0 %		
手当の種類 (手当数)		0		
手 当 の 名 称	主 な 支 給 対 象 職 員	主 な 支 給 対 象 業 務	支給実績 (令和3年度決算)	左記職員に対する支給単価
防疫等業務手当	保健福祉課職員	感染症発生等による処理業務	— 千円	日額 1,000円ほか
死体取扱業務手当	保健福祉課職員	死体処理業務	— 千円	1回 1,000円
精神病患者移送業務手当	保健福祉課職員	精神病患者移送業務	— 千円	1回 1,000円

(5) 時間外勤務手当

支給実績 (令和3年度決算)	21,236 千円
職員1人当たり平均支給年額 (令和3年度決算)	206 千円
支給実績 (令和2年度決算)	21,589 千円
職員1人当たり平均支給年額 (令和2年度決算)	220 千円

(注) 職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績 (○年度決算)」と同じ年度の4月1日現在の総職員数
 (管理職員、教育職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。)であり、短時間勤務職員を含む。

(6) その他の手当 (令和4年4月1日現在)

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (令和3年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (令和3年度決算)
扶養手当	配偶者 月額 6,500 円 配偶者以外の扶養親族 月額 6,500 円 満22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある子 月額 10,000 円 満15歳に達する日以後の最初の4月1日から満22歳に達する日以後最初の3月31日までにある子 1人につき 月額 5,000 円加算	同じ		11,283 千円	181,984 円
寒冷地手当	世帯主で扶養親族のある職員 月額 22,540 円 その他の世帯主であるある職員 月額 12,860 円 その他の職員 月額 8,600 円 ※ 毎年11月から翌年3月までの5か月を支給	同じ		8,616 千円	86,160 円
通勤手当	交通機関等利用者 1 か月当たりの運賃相当額 (55,000円限度) 自転車等使用者 通勤距離に応じて月額2,000円～32,600円	異なる	自動車等使用者は、国の約1.7倍	7,631 千円	91,940 円
管理職手当	1 課長職 月額49,600円 2 課長補佐職 月額32,200円	同じ		13,920 千円	480,000 円
管理職員特別勤務手当	臨時等により週休日又は休日等に勤務した場合 1 回の勤務につき6,000円 (6時間を超える場合は9,000円) 平日午前0時～午前5時の間に勤務した場合 1 回の勤務につき3,000円	同じ		609 千円	101,500 円
住居手当	家賃の額が月額16,000円を超える借家等 家賃の額に応じて月額28,000円を限度に支給	同じ		7,757 千円	235,061 円
休日勤務手当	休日等の正規の勤務時間内に勤務した職員 1時間当たりの給料月額135/100	同じ		2,058 千円	54,158 円
宿日直手当	宿日直勤務を命ぜられた職員 1 回の勤務につき4,400円	同じ		0 千円	0 円

5 特別職の報酬等の状況（令和4年4月1日現在）

区 分		給 料		月 額		等	
給 料	町 長	744,000 円 (- 円)		(参考) 類似団体における最高 / 最低額			
	副 町 長	618,000 円 (- 円)		850,000 円 /	505,800 円		
報 酬	議 長	270,000 円 (- 円)		360,000 円 /	205,000 円		
	副 議 長	210,000 円 (- 円)		300,000 円 /	175,000 円		
	議 員	180,000 円 (- 円)		280,000 円 /	155,000 円		
期 末 手 当		(令和3年度支給割合)					
	町 長	4. 4 5 月分					
	副 町 長	4. 4 5 月分					
	議 長	4. 4 5 月分					
	副 議 長 議 員	4. 4 5 月分					
退 職 手 当		(算定方式)	(1期の手当額)	(支給時期)			
	町 長	$744千円 \times 4年 \times 466/100$	13,868 千円	任 期 毎			
	副 町 長	$618千円 \times 4年 \times 294/100$	7,267 千円	任 期 毎			
	備 考						

(注) 1 給料及び報酬の()内は、減額措置を行う前の金額である。

2 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期(4年=48月)勤めた場合における退職手当の見込額である。

6 職員数の状況

(1) 部門別職員数の状況と主な増減理由 (各年4月1日現在)

各年定員管理調査

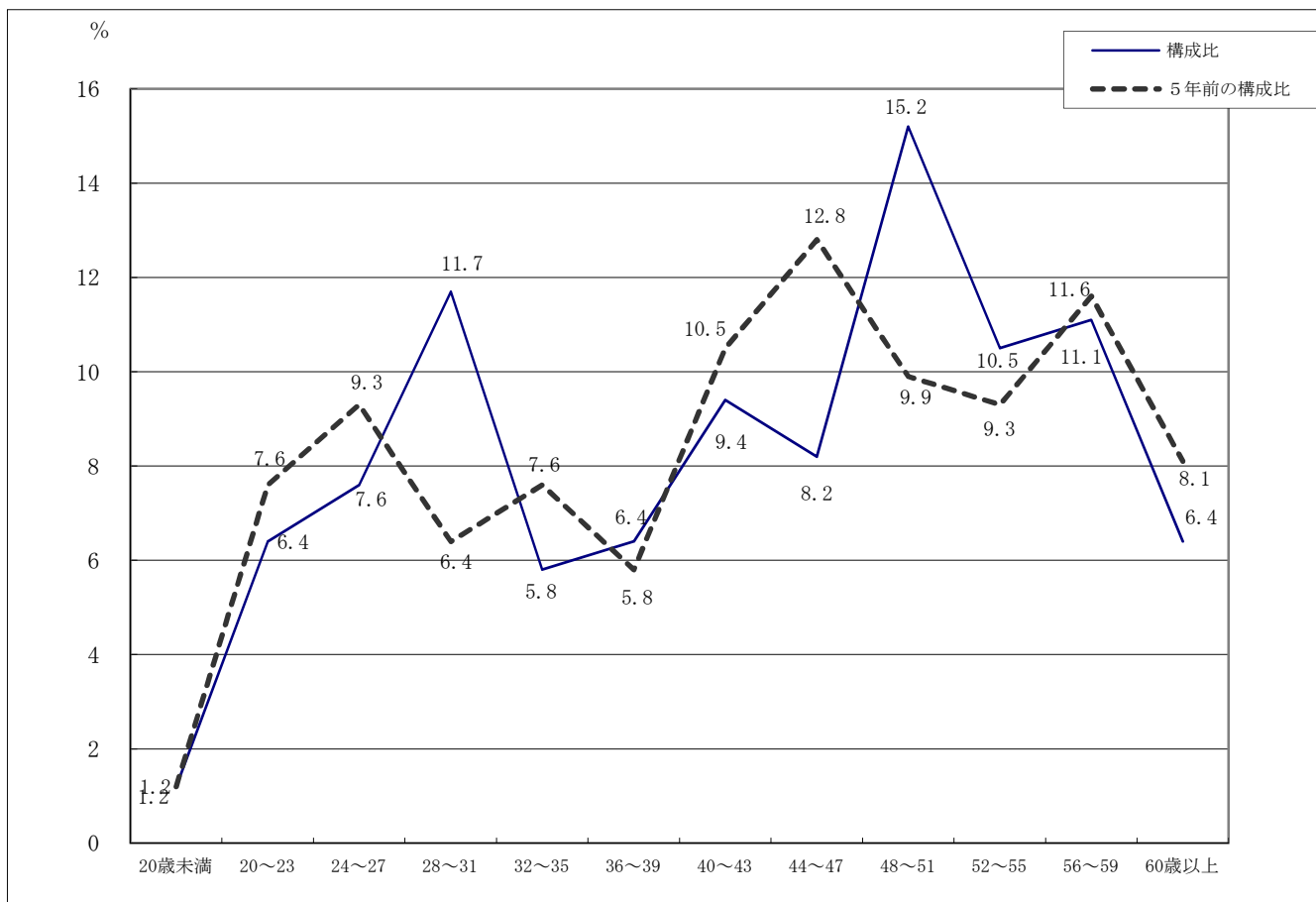
部 門		区 分	職 員 数		対 前 年 増 減 数	主 な 増 減 理 由
			令和3年	令和4年		
普 通 会 計 部 門	一 般 行 政 部 門	議 会	3	3	0	
		総 務	28	28	0	
		税 務	7	7	0	
		労 働	1	1	0	
		農林水産	15	13	△ 2	職員の再任用期間満了及び退職による減
		商 工	6	5	△ 1	職員の再任用期間満了による減
		土 木	6	6	0	
		民 生	9	9	0	
		衛 生	10	10	0	
	計	85	82	△ 3	<参考> 人口1万人当たりの職員数 127.23人 (類似団体の " 172.65人)	
	教 育 部 門	15	14	△ 1	職員配置の見直しによる減	
	小 計	100	96	△ 4	<参考> 人口1万人当たりの職員数 148.95人 (類似団体の " 134.60人)	
公 営 企 業 等	会 計 部 門	病 院	58	60	2	職員数と業務量の勘案による増
		水 道	4	4	0	
		そ の 他	11	11	0	
		小 計	73	75	2	
合 計			173 [276]	171 [276]	△ 2 [0]	<参考> 人口1万人当たりの職員数 265.32人

(注) 1 職員数は一般職に属する職員数である。

2 [] 内は、条例定数の合計である。

(2) 年齢別職員構成の状況（令和4年4月1日現在）

各年 定員管理調査



区分	20歳未満	20歳～23歳	24歳～27歳	28歳～31歳	32歳～35歳	36歳～39歳	40歳～43歳	44歳～47歳	48歳～51歳	52歳～55歳	56歳～59歳	60歳以上	計
職員数	2	11	13	20	10	11	16	14	26	18	19	11	171

(3) 職員数の推移

(単位：人：%)

部門別	年 度						過去5年間の増減数(率)
	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年	
一般行政	82	86	83	84	85	82	0 (0.00 %)
教 育	17	15	15	15	15	14	△ 3 (△ 17.65 %)
普通会計計	99	101	98	99	100	96	△ 3 (△ 3.03 %)
公営企業等会計計	73	75	76	78	73	75	2 (2.74 %)
総 合 計	172	176	174	177	173	171	△ 1 (△ 0.58 %)

(注) 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数。

7 公営企業職員の状況

(1) 水道事業

① 職員給与費の状況

ア 決算

区 分	総費用 A	純損益又は 実質収支	職員給与費 B	総費用に占める 職員給与費比率 B/A	(参考) 令和2年度の総費用に 占める職員給与費比率
3年度	千円 142,377	千円 27,706	千円 4,559	% 3.2	% 11.3

区 分	職員数 A	給 与 費				(参考) 一人当たり 給与費 B/A	(参考) 類似団体平均 一人当たり給与費
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B		
3年度	人 4	千円 13,561	千円 1,543	千円 4,647	千円 19,751	千円 4,938	千円 5,488

- (注) 1 職員手当には退職給与金を含まない。
- 2 職員数については、令和4年3月31日現在の人数である。また、任期付短時間勤務職員（再任用職員（短時間勤務））を含み、会計年度任用職員を含まない。※任期付短時間勤務職員 該当者なし
- 3 給与費については、任期付短時間勤務職員（再任用職員（短時間勤務））の給与費が含まれているが、会計年度任用職員の給与費は含まれていない。※任期付短時間勤務職員 該当者なし

イ 特記事項

② 職員の平均年齢、基本給及び平均月収額の状況（令和4年4月1日現在）

区 分	平均年齢	基本給	平均月収額
水道事業	41.6 歳	257,000 円	374,854 円
一般行政職	42.6 歳	304,795 円	356,475 円

- (注) 1 平均月収額には、期末・勤勉手当等を含む。
- 2 平均年齢の団体平均は、会計年度任用職員を含んで算出している。

③ 職員の手当の状況

ア 期末手当・勤勉手当

水 道 事 業		一 般 行 政 職	
1人当たり平均支給額（令和3年度） 1,044 千円		1人当たり平均支給額（令和3年度） 1,593 千円	
(令和3年度支給割合)		(令和3年度支給割合)	
期末手当	勤勉手当	期末手当	勤勉手当
2.55 月分 (1.45) 月分	1.90 月分 (0.90) 月分	2.55 月分 (1.45) 月分	1.90 月分 (0.90) 月分
(加算措置の状況)		(加算措置の状況)	
職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5～15%		職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5～15%	

- (注) () 内は、再任用職員に係る支給割合である。

イ 退職手当（令和4年4月1日現在）

水道事業			団体平均		
(支給率)	自己都合	応募認定・定年	(支給率)	自己都合	応募認定・定年
勤続20年	19.6695 月分	24.586875 月分	勤続20年	19.6695 月分	24.586875 月分
勤続25年	28.0395 月分	33.27075 月分	勤続25年	28.0395 月分	33.27075 月分
勤続35年	39.7575 月分	47.709 月分	勤続35年	39.7575 月分	47.709 月分
最高限度	47.709 月分	47.709 月分	最高限度	47.709 月分	47.709 月分
その他の加算措置			その他の加算措置		
定年前早期退職特例措置 (2~45%加算)			定年前早期退職特例措置 (2~45%加算)		
1人当たり平均支給額			1人当たり平均支給額		
		0千円			979千円
		0千円			0千円

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、令和3年度に退職した職員に支給された平均額である。

ウ 地域手当（令和4年4月1日現在） 支給なし

エ 特殊勤務手当（令和4年4月1日現在） 支給なし

オ 時間外勤務手当

支給実績（令和3年度決算）	118 千円
職員1人当たり平均支給年額（令和3年度決算）	30 千円
支給実績（令和2年度決算）	883 千円
職員1人当たり平均支給年額（令和2年度決算）	177 千円

(注) 1 時間外勤務手当には、休日勤務手当を含む。
 2 職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績(○年度決算)」と同じ年度の4月1日現在の総職員数(管理職員、教育職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。)で、
 ・あり、短時間勤務職員を含む。

カ その他の手当（令和4年4月1日現在）

手 当 名	内 容 及 び 支 給 単 価	一般行政職の制度との異同	一般行政職の制度と異なる内容	支 給 実 績 (令和3年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (令和3年度決算)
扶養手当	配偶者 月額 6,500 円 配偶者以外の扶養親族 月額 6,500 円 満22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある子 月額 10,000 円 満15歳に達する日以後の最初の4月1日から満22歳に達する日後最初の3月31日までにある子 1人につき 月額 5,000 円加算	同じ		438 千円	438,000 円
寒冷地手当	世帯主で扶養親族のある職員 月額 22,540 円 その他の世帯主であるある職員 月額 12,860 円 その他の職員 月額 8,600 円 ※ 毎年11月から翌年3月までの5か月を支給	同じ		220 千円	55,000 円
通勤手当	交通機関等利用者 1か月当たりの運賃相当額（55,000円限度） 自転車等使用者 通勤距離に応じて月額2,000円～32,600円	同じ		336 千円	168,000 円
管理職手当	1 課長職 月額49,600円 2 課長補佐職 月額32,200円	同じ		386 千円	386,000 円
管理職員特別勤務手当	臨時等により週休日又は休日等に勤務した場合 1回の勤務につき6,000円 （6時間を超える場合は9,000円） 平日午前0時～午前5時の間に勤務した場合 1回の勤務につき3,000円	同じ		0 千円	0 円
住居手当	家賃の額が月額16,000円を超える借家等 家賃の額に応じて月額28,000円を限度に支給	同じ		336 千円	336,000 円
休日勤務手当	休日等の正規の勤務時間内に勤務した職員 1時間当たりの給料月額135/100	同じ		0 千円	0 円

(2) 病院事業

① 職員給与費の状況

ア 決算

区 分	総費用	純損益又は 実質収支	職員給与費	総費用に占める 職員給与費比率	(参考) 令和2年度の総費用に 占める職員給与費比率
	A			B/A	
	千円	千円	千円	%	%
3年度	1,241,258	△ 21,474	795,335	64.1	65.5

区 分	職員数 A	給 与 費				(参考) 一人当たり 給与費 B/A	(参考) 類似団体平均 一人当たり給与費
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B		
	人	千円	千円	千円	千円	千円	千円
3年度	56	257,027	77,950	100,476	435,453	7,776	5,488

- (注) 1 職員手当には退職給与金を含まない。
 2 職員数については、令和4年3月31日現在の人数である。また、任期付短時間勤務職員（再任用職員（短時間勤務））を含み、会計年度任用職員を含まない。※任期付短時間勤務職員 該当者なし
 3 給与費については、任期付短時間勤務職員（再任用職員（短時間勤務））の給与費が含まれているが、会計年度任用職員の給与費は含まれていない。※任期付短時間勤務職員 該当者なし

イ 特記事項

② 職員の平均年齢、基本給及び平均月収額の状況（令和4年4月1日現在）

区 分	平均年齢	基本給	平均月収額
病 院 事 業	45.41 歳	382,481 円	647,996 円
一般行政職	42.6 歳	304,795 円	356,475 円

- (注) 1 平均月収額には、期末・勤勉手当等を含む。
 2 平均年齢の団体平均は、会計年度任用職員を含んで算出している。

③ 職員の手当の状況

ア 期末手当・勤勉手当

病 院 事 業		一 般 行 政 職	
1人当たり平均支給額（令和3年度） 1,794 千円		1人当たり平均支給額（令和3年度） 1,593 千円	
(令和3年度支給割合)		(令和3年度支給割合)	
期末手当 2.55 月分 (1.45) 月分	勤勉手当 1.90 月分 (0.90) 月分	期末手当 2.55 月分 (1.45) 月分	勤勉手当 1.90 月分 (0.90) 月分
(加算措置の状況)		(加算措置の状況)	
職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5～15%		職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5～15%	

- (注) () 内は、再任用職員に係る支給割合である。

イ 退職手当（令和4年4月1日現在）

病 院 事 業			団 体 平 均		
(支給率)	自己都合	応募認定・定年	(支給率)	自己都合	応募認定・定年
勤続20年	19.6695 月分	24.586875 月分	勤続20年	19.6695 月分	24.586875 月分
勤続25年	28.0395 月分	33.27075 月分	勤続25年	28.0395 月分	33.27075 月分
勤続35年	39.7575 月分	47.709 月分	勤続35年	39.7575 月分	47.709 月分
最高限度	47.709 月分	47.709 月分	最高限度	47.709 月分	47.709 月分
その他の加算措置			その他の加算措置		
定年前早期退職特例措置 (2~45%加算)			定年前早期退職特例措置 (2~45%加算)		
1人当たり平均支給額			1人当たり平均支給額		
5,482 千円 0 千円			979 千円 0 千円		

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、令和3年度に退職した職員に支給された平均額である。

ウ 地域手当（令和4年4月1日現在）

支給なし

エ 特殊勤務手当（令和4年4月1日現在）

支給実績（令和3年度決算）		22,796 千円		
支給職員1人当たり平均支給年額（令和3年度決算）		542,750 円		
職員全体に占める手当支給職員の割合（令和3年度決算）		75.0 %		
手当の種類（手当数）				
手 当 の 名 称	主 な 支 給 対 象 職 員	主 な 支 給 対 象 業 務	支給実績（令和3年度決算）	左記職員に対する支給単価
医学研究調査手当	医師	—	12,000 千円	月額200,000~300,000円
病理細菌業務手当	臨床検査技師	病理試験又は細菌等の検査の業務	240 千円	月額5,000円
夜間看護等業務手当	看護師、准看護師	夜間看護等業務	6,680 千円	1回につき2,000~6,800円

オ 時間外勤務手当

支給実績（令和3年度決算）	12,034 千円
職員1人当たり平均支給年額（令和3年度決算）	236 千円
支給実績（令和2年度決算）	16,370 千円
職員1人当たり平均支給年額（令和2年度決算）	348 千円

- (注) 1 時間外勤務手当には、休日勤務手当を含む。
 2 職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績（○年度決算）」と同じ年度の4月1日
 ・現在の総職員数（管理職員、教育職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。）で
 ・あり、短時間勤務職員を含む。

カ その他の手当（令和4年4月1日現在）

手当名	内容及び支給単価	一般行政職の制度との異同	一般行政職の制度と異なる内容	支給実績 (令和3年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (令和3年度決算)
扶養手当	配偶者 月額 6,500 円 配偶者以外の扶養親族 月額 6,500 円 満22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある子 月額 10,000 円 満15歳に達する日以後の最初の4月1日から満22歳に達する日以後最初の3月31日までにある子 1人につき 月額 5,000 円加算	同じ		6,077 千円	253,208 円
寒冷地手当	世帯主で扶養親族のある職員 月額 22,540 円 その他の世帯主であるある職員 月額 12,860 円 その他の職員 月額 8,600 円 ※ 毎年11月から翌年3月までの5か月を支給	同じ		4,161 千円	75,655 円
通勤手当	交通機関等利用者 1か月当たりの運賃相当額（55,000円限度） 自転車等使用者 通勤距離に応じて月額2,000円～32,600円	同じ		4,089 千円	113,583 円
管理職手当	1 病院長 給料月額に100分の15を乗じて得た額 2 副院長 給料月額に100分の12を乗じて得た額 3 部長、医局長及び医長 給料月額に100分の10を乗じて得た額 4 看護部長等（課長職級） 月額49,600円 5 副看護部長 月額39,600円 6 看護師長、事務局次長 月額32,200円	同じ		12,880 千円	858,667 円
管理職員特別勤務手当	臨時等により週休日又は休日等に勤務した場合 1回の勤務につき6,000円 （6時間を超える場合は9,000円） 平日午前0時～午前5時の間に勤務した場合 1回の勤務につき3,000円	同じ		0 千円	0 円
住居手当	家賃の額が月額16,000円を超える借家等 家賃の額に応じて月額28,000円を限度に支給	同じ		3,261 千円	181,167 円
夜間勤務手当	正規な勤務時間として午後10時から翌日の午前5時まで勤務した職員 1時間当たりの給料月額の25/100	同じ		2,580 千円	112,174 円
休日勤務手当	休日等の正規の勤務時間内に勤務した職員 1時間当たりの給料月額の135/100	同じ		0 千円	0 円
宿日直手当	宿日直勤務を命ぜられた職員 1回の勤務につき4,400円	同じ		7,600 千円	223,529 円